
【番号・テーマ】 16. 地域社会と世界

【单元名】 フランス人旅行者と交流しよう

【基本情報】

授業時間・形態：100分（2コマ×50分），週1回2コマ続き

学習歴：初習1年目

クラスサイズ：

10名以下 10～20名 20～30名 30名以上

レベル：

A1.1 A1 A2 B1

【授業の位置づけ】 第二外国語、選択

【单元の目標】

- ・自己紹介ができる。
 - ・自己紹介で述べたことについて、相手にも質問ができる。
 - ・質問に対する答えを聞き取ることができる。
 - ・地域について紹介ができる。
-

【具体的な学習事項】

[単元に該当する指標形式の目標]

やりとり	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客を前にして自己紹介ができる ・観光客に日本について質問ができる。 ・地域（十三）について必要な語彙を使い、表現し、説明できる。
------	---

【具体的な評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ être, avoir を用いての自己紹介の表現を理解し、適切に使える。 ・相手の自己紹介を聞き取れる。 ・質問の表現を理解し、適切に使える。 ・街の紹介に必要な単語を理解し、適切に使える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介を口頭で表現でき、書くこともできる。 ・ Comment, Qu'est-ce que, Est-ce que, Où, Combien de, Quel の質問の表現を適切に用いて、口頭で表現でき、書くこともできる。 ・街の紹介について考え、話し合えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違えることを恐れずに話すことができる。 ・相手の話していることに耳を傾けることができる。 ・グループワークにおいて、互いに協力しながら、タスクに取り組むことができる。 ・日本の紹介したい街（地域）の発見を通して、フランスの地域社会やその特徴を見つけることができる。

【目標とする言語項目と社会文化項目】

言語項目

街にかかわる語彙：la ville, le quartier, le train, la gare, le fleuve, le quai, l'hôtel, le feu d'artifice, la galerie marchande, le magasin, un grand bazar, la pâtisserie, le bistro, le restaurant, la supérette, le château, la tour

自己紹介にかかわる表現：Je m'appelle... Je suis... , étudiant, lycéen(ne)

国籍：français, japonais, etc.

疑問詞：où, qu'est-ce que, quel, comment, combien de

副詞（同意）：moi aussi

提示・説明の表現：C'est ～の表現、Il y a ～の表現、Voici ～の表現

想定される既習文法事項

主語人称代名詞、動詞（être, avoir, -er）、定・不定冠詞、疑問文、否定文、数字（1 から 59）、序数、avoir を用いた慣用表現（身体の調子, 年齢）

社会文化項目

フランスのパリ以外の都市名と位置を理解する。フランス人の名前を知る。相手がどのような日本料理が好きか、日本のどの街を訪れたいかなどを知り、日本文化について考える

【授業資料】

【第1次】ワークシート（自己紹介文、相手への質問文、街の紹介文）、シナリオ用紙（白紙）、

【第2次】ルーブリックシート（グループ評価用）、ルーブリックシート（個人評価用）

【授業の過程】

[第1次]

展開：

1. 席の移動、ワークシートを配布、既習事項の振り返り：グループ活動準備
2. 自己紹介、質問、街の紹介を完成させる：グループ活動
3. 会話のロールプレイ、紹介にシナリオ作り：グループ活動準備
4. 評価基準をもとに、プレゼン：グループ活動
5. ルーブリックをもとに評価
6. まとめ・振り返り

[第2次]

展開：

1. 評価基準をもとに、プレゼン：グループ活動
2. 評価活動
3. 改善点の話し合い：グループ活動準備
4. まとめ：改善したものをプレゼン

第1次

時間	生徒の学習活動	教師の活動及び指導支援	評価の観点・評価基準
導入 3分	【あいさつ】	あいさつ 出欠確認 フランス人旅行者と交流することを想定にして、動画撮影ならびにルーブリック評価することを伝える。	
展開① 12分	【グループ活動準備】 グループの形に席を移動 教師の問いにフランス語で返答する。 ワークシートを完成させる。	グループに1枚ワークシートを配布。 「自己紹介でどんなことが言えるかな?」「フランス人旅行客にどんな質問が出来るかな?」「十三の紹介が出来るかな?」と言いながら、既習項目を振り返ると同時に、生徒からのフランス語での発言を促す。	既習事項が定着しているかどうか。 積極的に発することが出来ているか。

	<p>【グループ活動】</p> <p>自己紹介、質問、街の紹介を黒板に書く。</p> <p>準備してきた絵を磁石で貼る（資料2）。</p> <p>教師に続いてコーラスする。</p>	<p>グループを当て、黒板に書かせる。</p> <p>絵も利用するように促す。</p> <p>黒板に書かれたものを発音する。</p>	
<p>展開②</p> <p>15分</p>	<p>【グループ活動】</p> <p>自己紹介・質問・十三の紹介の3つをすべてセリフとして必ず使い、グループの中で、フランス人旅行者と日本人の役割を演じる。旅行者の回答も用意する。</p> <p>グループで1つの3分～5分のシナリオ（紹介の流れ）としてまとめる。</p> <p>グループ内で発表の練習をする。</p>	<p>黒板で確認したように、各グループで用意した内容をシナリオ（紹介の流れ）になるよう指示する。またグループ内で日本人と旅行者の役割を決めて演じるよう指示する。旅行者の回答は自由に想定させる。</p> <p>相手に何かを紹介する場合の方法について検討させ、次の表現を理解させ、加えるよう促す（未習事項は意味を伝える程度）。</p> <p>Je vous présente le quartier Jûsô. また、グループになった場合、「私も〇〇に住んでいます」や「私達は〇〇です」のようなバリエーションを工夫するよう促す。</p> <p>グループに1個タイマーを配布。 4グループ（{4人×3}+5人）を机間巡視。</p>	<p>正確に文を綴ることができるか。</p> <p>正確に発音できているか。</p> <p>発表の流れを協働的に話し合っているか、相手を想定してシナリオを考えられているか。</p>
<p>展開③</p> <p>3分</p> <p>14分</p>	<p>【グループ活動】</p> <p>ループリックの評価基準を確認する。</p> <p>撮影と発表と評価。</p> <p>発表は3～5分</p> <p>グループ①</p> <p>グループ②</p> <p>【評価活動】</p>	<p>「評価ループリック・グループ」を配布する。発表グループに対し、聞き手のグループごとに評価をするよう指示する。</p> <p>（発表の撮影）</p>	

	発表者の評価は評価ルーブリックを使って行う。	評価ルーブリック・グループの回収	ルーブリックに基づいて評価する。
まとめ と振り返り 3分	【まとめ・振り返り】	次の時間にも引き続きグループ③④が発表することを伝える。	

第2次

時間	生徒の学習活動	教師の活動及び指導支援	評価の観点・評価基準
導入 2分	発表ならびに評価の準備	発表の準備をするように指示する。	
展開① 14分	【グループ活動】 撮影と発表と評価 発表は3～5分 グループ③ グループ④	「評価ルーブリック・グループ」の回収	ルーブリックに基づいて評価する。
展開② 6分	【評価活動】 自分たちの動画を見ながら自己評価を行う。	「評価ルーブリック・わたし」の配布。 機器取り扱いのサポートをする。	
展開③ 5分	【グループ活動】 他グループからの自分たちのグループに対する評価ルーブリックと、自己評価ルーブリックを使って振り返りを行い、グループで改善点を話し合い3つ以上見つけ、ノートにメモをする。	「評価ルーブリック・グループ」の返却。 声の大きさ、発表の態度、シナリオとしての流れ等、他グループの指摘も考慮して留意するよう、声をかける。	
展開④ まとめ 23分	【まとめ】 改善したプレゼンテーションの再試行。全グループ4グループが発表する。	(発表の撮影) 発表終了後、1回目の発表と比べて2回目を実践した感想を数人に当てて言わせる。 振り返ることで、気が付くこと、改善される点があること等、まとめのコメントをする。 シナリオの回収 ルーブリックの回収	